

## 海外旅行でおトクに外貨を使おう！

ファイナンシャル・プランナー 福島えみ子

3月に入るともうすぐ春休み！円高を利用して海外旅行の予定を立てていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか？せっかくのこの円高、フルに恩恵を味わうためにも今回は海外でのちょっとおトクな外貨の使い方をご紹介しますと思います。

海外旅行の予約も完了。さて持っていく外貨をどうしようかな、と考えていた矢先のこと。ニュースを見ていたら昨日今日とかなり円高になっているらしい。そうだ、今日銀行に行くついでに両替しておこうと意気揚々と出かけたものの、いざ両替する段になると“あれっ、ニュースで見たレートと違う？”とがっかりした経験をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

そう、円を外貨の現金（キャッシュ）に替える時の手数料は1番高いのです。外国為替の手数料のしくみは以下のようになっています。



金融機関によりその値は若干異なりますが、「TTM」または「仲値」と呼ばれるレートがニュースで見るレートに一番近いレート。

これに上記の例では手数料として1円上乗せした「TTS」が、私達が外貨預金等の現金以外で円から外貨に替えるときのレートです。「TTS」の“S”とは、“SELL=売り”という意味。外貨を“買う”のに、“売り”とは？とってしまうかもしれませんが、これらは全て銀行側から見た時の用語なのです。ですから、外貨を買いたい時は、“銀行から外貨を売ってもらおう”つまり SELL レートを見ればいいのね、と思いだしてみてください。この外貨預金等をする時の「TTS」からさらに1円手数料を上乗せしたものが、外貨現金を買う時

コラムの無断転写・転載などを禁じます。 -

Copyright © 2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

の「CASH SELL」レートなのです。

なお、この手数料幅は外貨の種類によって、そして金融機関によっても異なります。ドルよりもユーロやオーストラリアドルになるとさらに手数料幅がアップするのが通常です。

反対に海外旅行から帰って外貨現金が余った時、外貨から円に交換するときのレートはもうおわかりですね！そう、今度はSELLの反対の意味の“BUY”、“銀行に買ってもらう”という意味の「CASH BUY」のレートです。

海外旅行で使う現金は空港でいつも両替するよ、という方も多いと思います。下の表は成田空港に両替支店を持つ銀行の、ある同一日の交換レートです。

ドル	CASH S.	CASH B.	ユーロ	CASH S.	CASH B.
A銀行	85.73	79.93	A銀行	117.16	109.16
B銀行	85.93	79.93	B銀行	117.13	109.13
C銀行	85.95	79.95	C銀行	119.15	107.15
D銀行	85.93	79.93	D銀行	119.15	107.15
E銀行	85.95	79.95	E銀行	119.15	107.15
郵便局	85.73	79.93	郵便局	117.16	109.16

両替なんて、どこの銀行で替えても同じだよ、と思っていた方も多いのではないのでしょうか？実は銀行によって交換レートは違います。円から外貨に替える時は円高であれば円高であるほどおトクですよ。

ユーロ円を例にとって見てみましょう。最も円高なレートを採用しているB銀行とC・D・E銀行とでは、日本円で約10万円相当の850ユーロを円から交換した場合を比較してみると、なんと1,717円の差が出てきてしまうのです（1円未満は四捨五入）。1,717円あればお土産がもうひとつ買えてしまいますよね。

また、外貨現金を手に入れるなら空港で両替せずとも、旅行の予約をしたら日々為替レートをチェック、このレートなら！と思う時に銀行等で現金を手に入れておくという手もあります。銀行によっては外貨宅配も行っているので、銀行へ行けない日でも時を逃さず両替できますね。

ところで、海外で外貨を使うには主に以下の方法があります。

現金で外貨を使う

T/C（トラベラーズチェック）で外貨を使う

クレジットカードで支払い

現地のATMでキャッシング・または引き出しによって外貨を手に入れる

T/C（トラベラーズチェック）を使うと確かに現金で使うよりおトクですが、行き先によ

っては使えないお店があったり、使えなかったからと銀行で T/C を両替すれば結局手数料をとられたり使い勝手の点でのデメリットは否めません。

それに対してクレジットカードで支払うと、現金よりも有利な為替レートが適用されまし現金を大量に持ち歩くよりも安心です。ただし、使用した時点とカード会社からの請求時点との時間差があり、いつの時点で請求されるかの予測がつきにくく、請求時点の為替レートが必ずしも有利なレートであるとは限らないというデメリットはあります。

では、海外の ATM で、クレジットカードを使って外貨キャッシングした場合はどうでしょうか？ある大手クレジットカード会社のカードでユーロのキャッシングをした場合を例に見てみましょう。先程の成田空港の現金両替レートと同一日のキャッシング適用レートは 1 ユーロ 113.279 円。キャッシング適用利率は 18%、支払日までの日数を多めの 50 日とみたとしても、先程と同じ 850 ユーロを引き出した場合では、キャッシング利息を含めても空港で 1 番有利なレートで現金両替した金額よりもさらに 900 円おトクになります。

もしお持ちのカードがキャッシング繰り上げ返済可能なカードであれば、帰国後すぐにキャッシング分を請求まで待たずに繰り上げ返済すればよりおトクです。(自分の持っているカードが繰り上げ返済可能かは事前に確認しておきましょう。)先程の例で、10 日間旅行し帰国翌日返済したとすると、1 番有利なレートよりも 2,799 円おトクになります。さらに成田空港でレートを気にせずに両替した時と比べてみると、なんと 4,516 円もおトクになるのです！

このほかに、普段から外貨投資をしていたり預金に外貨を持っていたり、FX (外国為替証拠金取引) をしていたりする人には外貨のまま引き出して使う方法もあります。これも金融機関により手数料設定は異なりますが、手数料と引き出し額次第では円から外貨に替えるよりはおトクな場合も出てきます。

また、こんなクレジットカードもあります。まだ取り扱い外貨はドルのみですが、ドル外貨預金に自分が持っているドルでそのまま決済ができるのです。これですとドルから円に替える手数料を節約できるうえ、為替レートの動向を気にする必要がありません。

こうしていくつかの方法をご紹介してきましたがいかがでしょうか？ひとくちに海外で外貨を使うだけでも、いろいろな方法がありますね。今までなにげなく払っていた為替手数料も、知っているとは知らずいぶん差がついてしまうのです。

ぜひ自分にあっただおトクな方法で、観光にショッピングにグルメにと海外旅行を満喫なさってください！よいご旅行を！